７　学習過程

子どもの視点で記入する　～する

教師の視点で記入する　　～させる

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容・活動 | 時間 | 指導上の留意点　◆評価 | | 資料 |
| T1 | T2 |
| つかむ  ‘  意識化  さぐる  ・現状把握  みつける  ・原因追求  決める・実践意識化 | １　本時のめあてを知る。  （１）自分たちの～の実態を知る。  グラフ：アンケート結果を見て実態に気付く  （２）めあてを知る。  ２　～の大切さを知る。  （１）～を見る。  （２）～のよさを知る。  集団思考につながる指導内容に  ３　～で～する方法や工夫を話し合う。  集団思考の場と内容（全員）  意思決定の場と内容  ４　学習を振り返り、これから～するためのめあてをワークシートに記入し発表する。  （１）自分が今後実践する  　　ことをカードに書く。  （２）自分がこれから～することを発表する。 | ５  　５  (10)  20  15 | ○　グラフや図に示した～を提示し、～に気付かせる。  ○　～を通して，食  べ物の働きへの関心を高める。  【  ○　児童の発表を聞き，大切なことを視覚的に再確認できるようにする。  （  （  ○　どうすれば～なるか、～する工夫を話し合わせる。友だちの考えを自分の考えに生かせるように。  ）  ○　話し合ったことをもとに自分にあっためあてを考えさせる。  ○　実践しやすいよう、具体的な内容で書くように助言する。  ◆　～を知り，今後の生活で実践することを決めることができたか。  （ワークシート・発表） | ○　～のグラフや図に示した～を提示する。  子どもにとって必要感・必然性のあるものに  ○　赤，黄，緑の食べ物のはたらきについて補足することで，理解を促す。  ○　栄養技師から専門的な話をすることで，～の大切さを理解させる。  意思決定の意識化・実践化を図る   * 自分なりのめ   あてがかけるように机間指導を行い、個別に指導する。   * 情報が足りな   いときは、補足説明等を行う。   * 具体的に実践   できる内容なのかに視点をおいて助言する。 | アンケート結果の図  ICTの活用  食品カード  具体物  ワークシート |

上段は小学校　下段は中学校